

令和6年11月15日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土博物館(青梅市駒木町 1-684 TEL0428-23-6859)

中西^{ごとう}悟堂「西多摩郡鳥勢一班」

中西悟堂氏は、石川県金沢市で明治28(1895)年に生まれました。仏教者・文学者として活動するだけでなく、鳥や虫など自然に関する多くの本を出版し、昭和9(1934)年には「日本野鳥の会」を創設するなど、自然保護に尽力しました。昭和19(1944)年に西多摩郡福生町(現・福生市)に移り住んだ後、一時山形県に疎開しますが、終戦直後の昭和20(1945)年には西多摩郡東秋留村(現・あきる野市)に再び住まいを定めました。この頃、中西氏は西多摩地域の山地を歩き尽くしたといわれています(中西悟堂協会HPより)。

「西多摩郡鳥勢一班」は、中西氏の西多摩地域での鳥類研究の成果として、昭和27(1952)年に西多摩郷土研究の会から発行されました。内容は、昭和21(1946)年1月より昭和27(1952)年6月までに中西氏による観察記録と、西多摩郡内各地の観察者からの情報を集成したものです。調査範囲は西多摩郡の全域におよび、東京都最高峰の雲取山までも含まれています。

「西多摩郡鳥勢一班」には、現在の分類体系に直すと35科149種類もの鳥類が記録されています。このうち、青梅市域の記録だけでも37科102種類でした(付表)。これらの鳥類には現在でも普通に見られるものもありますが、個体数が減少し、東京都の絶滅危惧種に指定されているものが約半分に及んでいます。

このように中西氏は、西多摩地域での鳥類研究に取り組むとともに、日本野鳥の会の支部として昭和22(1947)年に秋川支部を創設するなど、地域の鳥類保護や普及啓発にも尽力しました。中西氏は昭和59(1984)年に89歳で死去されましたが、日本野鳥の会秋川支部は、昭和28(1953)年に発展的解消して日本野鳥の会奥多摩支部となり、現在も鳥類保護や普及啓発のため様々な探鳥会(野鳥観察イベント)や調査活動を行っています。

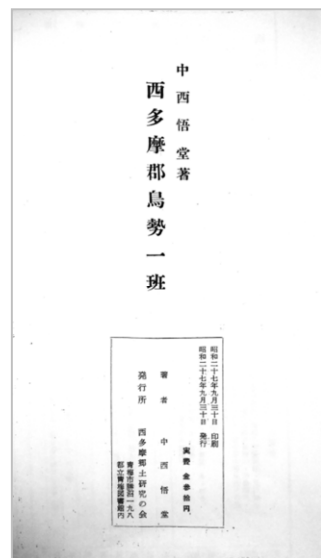
<参考文献>

中西悟堂. 1952. 西多摩郡鳥勢一班. 西多摩郷土研究の会.

中西悟堂協会. <https://nakanishigodo.wixsite.com/home/about>

東京都環境局自然環境部. 2023. 東京都レッドデータブック2023—東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)解説版—. 東京都環境局自然環境部.

(文責 御手洗望)



付表 「西多摩郡鳥勢一班」に記された青梅市域での鳥類記録

科名	種名	地域*1		渡り *2	絶滅 危惧 *3	科名	種名	地域*1		渡り *2	絶滅 危惧 *3
		多摩川	御岳					多摩川	御岳		
キジ科	ヤマドリ	◎	◎	留	VU	エナガ科	エナガ	◎	◎	漂	
	キジ	◎	◎	留	NT	ムシクイ科	メボソムシクイ *4		○	夏	VU
ハト科	キジバト	◎	◎	漂			センダングサ	◎	◎	夏	VU
	アオバト	○	○	漂		メジロ科	メジロ	◎	◎	漂	
サギ科	ミゾゴイ		◎	夏	EN	ゴジュウカラ科	ゴジュウカラ		◎	留	NT
カウ科	ジュウイチ	○	○	夏	NT	ミソサザ科	ミソサザ	◎	◎	漂	
	ホトトギス		○	夏	NT	ムクドリ科	ムクドリ	◎	◎	漂	
	ツツトリ	◎	◎	夏	NT	カワガラス科	カワガラス	◎	◎	留	NT
	カウ		○	夏	VU	ヒタキ科	トラツグミ	◎	◎	漂	NT
ヨツカ科	ヨツカ	◎	◎	夏	VU		クロツグミ	◎	◎	夏	NT
アマツハメ科	アマツハメ	○	○	夏	DD		マミチャジナイ	○	○	冬	
チドリ科	イカルチドリ	◎		留	NT		シロハラ	○	○	冬	
	コチドリ	◎		留	NT		アカハラ	○	○	漂	
シギ科	ヤマシギ		◎	漂	VU		ハチジョウツグミ	○	○	冬	
タマシギ科	タマシギ	○		漂	CR		ツグミ	○	○	冬	
タカ科	トビ	○	◎	留			コマドリ		○	夏	VU
	ツミ	○		冬	NT		コリ	◎	◎	夏	EN
	ハイタカ	◎	◎	留	VU		ルリビタキ	○	○	漂	
	オオタカ	◎	◎	留	VU		ジョウビタキ	○	○	冬	
	サシハ		◎	夏	CR		コサメビタキ	◎	◎	夏	VU
	ノスリ		◎	留	NT		キビタキ	◎	◎	夏	
	オオノハズク	◎	◎	留	EN		オオルリ	◎	◎	夏	NT
	コノハズク	◎	◎	夏	EN	イワヒバリ科	カヤクグリ		○	漂	NT
フクロウ科	キウシュウフクロウ	◎	◎	留	VU	スズメ科	ニュウナイスズメ	○		旅・冬	
	アオハズク	◎	◎	夏	VU		スズメ	◎	◎	留	
	トラフズク	○		留	VU	セキレイ科	セキレイ	◎	◎	漂	
	アカショウビン		◎	留	CR		セグロセキレイ	◎	◎	留	
カセミ科	カセミ		○	留	NT		ビンズイ	○	○	漂	
	ヤマセミ	◎		留	EN		タヒバリ	○		冬	
	ブッポウソウ	◎	◎	夏	CR	アトリ科	アトリ	○	○	冬	
キツキ科	コゲラ	◎	◎	留			コカラヒ	◎	◎	留	
	アカゲラ	◎	◎	留			オオカラヒ		○	冬	
	アオゲラ	◎	◎	留			マヒ	○	○	冬	
サンショウクイ科	サンショウクイ	◎	◎	夏	CR		ハニヒ	○		冬	
カササギヒタキ科	サンコウチョウ	◎	◎	夏	VU		ハニマシ	○	○	冬	NT
モズ科	チゴモズ	◎	◎	夏	CR		オオマシ	○	○	冬	DD
	モズ	◎	◎	漂	NT		イサ	○		冬	DD
	アカモズ		◎	夏	CR		ウ		○	漂	VU
カラス科	カケス		◎	漂			シメ	○	○	冬	
	オナガ	◎		漂	NT		イカル		◎	留・冬	
	ハシボソガラス	◎	◎	留		ツメナガホヅロ科	ユキホヅロ	○		迷	
	ハシブトガラス	◎	◎	留		ホヅロ科	ホヅロ	○	◎	留	NT
キイタダキ科	キイタダキ	○	○	漂	VU		ホアカ	○	○	冬	
ジュウカラ科	コガラ		◎	漂			カシラダカ	○	○	冬	NT
	ヤマガラ	◎	◎	留			ミヤマホヅロ	○	○	冬	
	ヒガラ	◎	◎	漂			ノジ	○		夏	
	ジュウカラ	◎	◎	漂			アジ	○	○	漂	
ツバメ科	ツバメ	◎	◎	夏			クロジ	○	○	冬	EN
	イワツバメ	◎	◎	夏			コジュリ	○		漂	
ヒヨドリ科	ヒヨドリ	◎	◎	漂		キジ科(外来種)	コジュケイ	◎	◎	留	
ウグイス科	ウグイス	◎	◎	漂	留意	37科	102種類	84	88	—	54種類
	ヤブサメ	◎	◎	夏	NT	うち繁殖	62種類	50	58		

*1 「多摩川」は「青梅 小河内」を, 「御岳」は「御岳沢・養沢川上流」を含む。

*2 本州を基準としての渡り類別。(夏:夏鳥, 冬:冬鳥, 留:留鳥, 漂:漂鳥)

*3 東京都レッドデータブックに掲載された絶滅危惧種。

CR:絶滅危惧IA類, EN:絶滅危惧IB類, VU:絶滅危惧II類, NT:順絶滅危惧, DD:情報不足, 留意:留意すべき種。

*4 原文では「メボソ」。

◎:繁殖鳥 ○:目撃のみの鳥